



いっしやう すいちゆう せいかつ せきつい どうぶつ
一生を水中で生活する脊椎動物。
えらで呼吸を行い、体は鱗でおお
われているものが多い。魚類の多く
は、水の抵抗を受けにくい流線型の
体形で、水中生活に適応している。



□コイ(コイ目コイ科)
流れのゆるやかな場所に生息する大型の
淡水魚。雑食性で水草などを食べるが、
特にタニシなどの貝類を好む。



□ギンブナ(コイ目コイ科)
ギンブナのほとんどはメスで、オスを必要
とせず、メスのみでクローン個体を産むも
のが多い。



□タイリクバラタナゴ(コイ目コイ科)
中国大陸原産の外来種。
ため池などの止水域を好む。繁殖期にな
るとオスはバラのような赤色を帯びる。



□オイカワ(コイ目コイ科)
河川の中流から下流の日当たりの良い
環境に生息する。繁殖期になるとオスは
水色とピンクのあざやかな体色になる。



□モツゴ(コイ目コイ科)
浅い池沼やため池に生息する。
口が小さく細く見えることから、別名「クチ
ボソ」と呼ばれる。



□ニゴイ(コイ目コイ科)
比較的大きな河川の中流から下流に
生息する。口先がとがり、口が下向きにつ
いている。



□ドジョウ(コイ目ドジョウ科)
水田や池沼の泥の中に生息する。
えらで呼吸するほか、腸や皮ふでも呼吸
することができる。



□ナマズ(ナマズ目ナマズ科)
河川や池沼の水底に生息する夜行性の
淡水魚。鱗がなく、皮ふはヌメヌメとした
粘液でおおわれている。



□トウヨシノボリ(スズキ目ハゼ科)
日本各地に生息する全長7cmほどのハゼ
の仲間。さまざまな水辺に生息し、体の
模様は地域差や個体差が大きい。



□ヌマチチブ(スズキ目ハゼ科)
暗褐色の体に無数の青白い点模様が
特徴のハゼの仲間。河川の中流から
汽水域、ため池などに生息する。



□ウキゴリ(スズキ目ハゼ科)
ハゼの仲間は水底でじっとしていることが
多いが、ウキゴリは水底を離れてゆらゆら
と泳ぐ習性がある。



□カムルチー (スズキ目タイワンドジョウ科)
「ライギョ」や「スネークヘッド」とも呼ばれる大型の肉食魚。
えら呼吸のみでなく空気呼吸ができる。



□オオクチバス (スズキ目サンフィッシュ科)
北アメリカ原産の外来種。
コクチバスとともに通称「ブラックバス」と呼ばれている。



□ブルーギル (スズキ目サンフィッシュ科)
北アメリカ原産の外来種。
「ギル」は英語でえらを意味しており、えらぶたの後ろにある青黒い模様が特徴。



□ミナミメダカ (ダツ目メダカ科)
水草の多い小川や水田に生息する。
以前は身近な場所でも見られたが、開発や外来種の侵入などで生息地が減少。



□カダヤシ (カダヤシ目カダヤシ科)
北アメリカ原産の外来種。卵ではなく仔魚を直接産み、水の汚れた環境でも生息できる。飼育などが禁止されている。

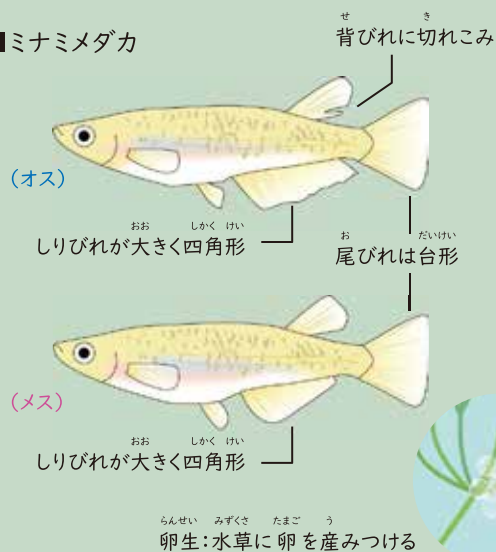


□ボラ (ボラ目ボラ科)
世界中の暖かい海に広く分布する魚類。
河川にも生息し、群れをつくり水面付近を泳ぐ姿がよく見られる。

メダカとカダヤシの見分け方

カダヤシは、ボウフラ(カの幼虫)を減らすために移入された北アメリカ原産の外来種です。
メダカそっくりな見た目をしており、メダカと同じように小川や水路、水田に生息しています。
メダカの生息場所を奪ってしまうことから特定外来生物に指定されており、飼育すること、生きたまま運ぶこと、別の場所へ放つことなどが法律で禁止されています。
メダカと間違えて飼育することがないように、十分に気をつけましょう。

■ミナミメダカ



■カダヤシ

